

この記事・写真は岩手日日新聞社の許諾を得て転載しています。



入学する高校の制服を試着し、保護者と笑顔を交わす中学生＝花巻市上町、マルカンデパート

県立高校の合格発表後初めての週末となった19日、花巻市内の制服取扱店は、入学する学校の制服を買い求めて4月からの新生活に備える親子連れなどでにぎわった。

同市上町のマルカンデパート(佐々木一代表取締役)は2階の男子制服売り場、3階の女子制服売り場とも午前中から混雑。保護者と一緒に訪れた中学生が夏服、冬服をそれぞれ試着して着心地を確かめ、店員の

手を借りて袖や丈を調整した。

県立花北青雲高に合格した聖石歩花さん(15)は、真新しいシャツやジャケットに袖を通し、「受かった実感が湧いた。検定資格を取りたいので、勉強をたくさん頑張りたい」と高校生活への意欲を語った。

母の晶代さん(46)は「ほっとしている。自分のやりたい科(総合生

高校生活へ 膨らむ期待

制服売り場 にぎわう

活科)に入ったので頑張ってるほしー」と話し、同じ高校に通う姉の愛莉さん(17)と一緒に晴れ姿を見守っていた。

同デパートでは、制服購入のピークは3連休最終日の21日までと見込んでいる。6月7日の閉店に伴い、来年から学生衣料は同市桜台のグループ店・アルテマルカン桜台店で販売する予定。